2021火山砂防フォーラム【第30回 浅間山】

とねがさぼう
国土交通省 利根川水系砂防事務所

《開催概要》
日　　時：令和３年１２月１６日（木）１３：１５～１７：００
場　　所：嬬恋村立嬬恋中学校体育館
開催方式：会場（リアル）とWEB配信のハイブリッド方式
参 加 者：約３４０名（体育館 約200名、WEB 約140名）
報道関係：上毛新聞、信濃毎日新聞、ＮＨＫ 前橋放送局　　合計３社
(当日取材)

会場参加風景

Web参加風景

《開催趣旨》
活発な活動を繰り返す活火山「浅間山」の噴火リスクやその他の自然災害リスクを改めて認識したうえで、浅間山火山噴火緊急減災対策の基本方針・取組現状、さらに令和元年東日本台風時における地域の活動を発信し、これからの火山防災について、行政・地域の両面からそのあり方に関しての意見交換を行うことを目的として開催

《プログラム》
- 開会式典
- 嬬恋中学校1年生による「浅間山学習」研究発表
- パネルディスカッション

《開会式典》

主催者挨拶：熊川 栄　嬬恋村長
来 賓 挨 拶：小渕 優子 衆議院議員（ﾋﾞﾃﾞｵﾒｯｾｰｼﾞ）
山本 一太 群馬県知事（ﾋﾞﾃﾞｵﾒｯｾｰｼﾞ）
三上 幸三 国土交通省砂防部長（web）
尾崎 友亮 気象庁火山監視課長（web）

小渕 優子 衆議院議員(ﾋﾞﾃﾞｵﾒｯｾｰｼﾞ)

山本 一太 群馬県知事(ﾋﾞﾃﾞｵﾒｯｾｰｼﾞ)

三上 幸三　国交省砂防部長(web)

尾崎 友亮 気象庁火山監視課長(web)

2021火山砂防フォーラム【第30回 浅間山】

とねがさぼう
国土交通省 利根川水系砂防事務所

■研究発表

浅間山登山学習で浅間山から嬬恋村を見て、生徒たちが自ら感じ、考えたテーマに則し３グループに分かれ学習を進めた成果を発表

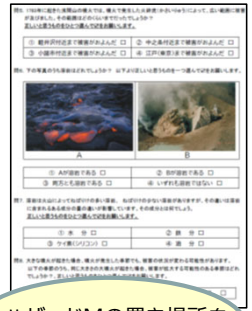
発表者 嬬恋村立嬬恋中学校１年生（テーマ　「活火山 浅間山」・「植物」・「安全対策」）

講　評 荒牧 重雄（東京大学名誉教授）、熊川 栄（嬬恋村長）

『活火山　浅間山』グループ

浅間山の噴火史や噴火で発生する現象などを学んだ。学んだことについて保護者にテスト形式で話をすると、思いのほか知らない事に危機感を抱き、生徒自ら学んだことを家族に発信することにした。話す内容や順番を考え、フォーラム前に実践。家族内で噴火リスクの共有を図った経過をなどを発信した。

（保護者に行ったテスト）



ハザードMの置き場所を変えたというご家庭も

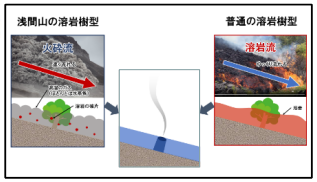
『植物』グループ

「植生」、「溶岩樹形」の2班に分かれ、それらが浅間山の噴火がもたらした希少な地域資源であることや、現在はジオパーク関係者などが行っている保全活動について紹介。地域の観光資源としても活用可能であることや、地域が一体となって保全活動を行うべきであると発信した。

地域にある魅力や、自然を大切にするためにできることを考える

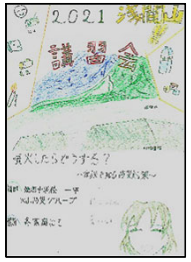
特徴のある植生の保護を進めていることを紹介

浅間山の溶岩樹形は火砕流によるものであり、希少性が高いことを発信



『安全対策』グループ

浅間山の噴火に向けて行政機関が行っている各種の安全対策について、噴火現象のメカニズムなどを含めて学んだ。そのうえで「地域の人びとが行っている備え」を把握し、中学生でも可能な啓発の取組を具体的に検討。自らが講師となって行う「講習会」の会場選び、テーマや内容を考え、ポスターも作成したことを発信した。



登山ガイドの方の装備品を参考に必要と考えられる持ち出し品を整理

各グループとも、内容はもとより、発表手順や整理の仕方について、講評者より高い評価をいただきました。

2021火山砂防フォーラム【第30回 浅間山】

とねがさぼう
国土交通省 利根川水系砂防事務所

■パネルディスカッション

『地域の防災力を高めて、明日に備える』と題して、「浅間山噴火で起こりうること」、「火山地域の自然災害リスク（令和元年東日本台風）」、「浅間山の噴火に備える 防災力の高い地域づくり」の３テーマで意見交換

コーディネーター：池谷 浩（（一財）砂防・地すべり技術センター研究顧問）
パネリスト：安井 真也（日本大学 文理学部 地球科学科 教授）、古屋 祐之（浅間山北麓ジオパークガイド）、熊川 美朗（嬬恋消防団長）、松本 もとみ（おちょんきねっと代表）、永田 雅一（利根川水系砂防事務所長）
コメンテーター：三上 幸三（国交省砂防部長）、糸井 秀幸（群馬県危機管理課長）、林 孝標（長野県砂防課長）

安井先生（Web出演）
- 火山防災は地域の人がその火山の特徴をよく知ること。
- 火山地域のリスクは『噴火』だけではありませんよ！
- 浅間山に係る様々な人が集う、本日のような場が大切。

松本さん
- 嬬恋村の住民は自然災害をあまり警戒していないのでは？
- 鎌原観音堂保存会には、地区住民限定という壁もあった。
- 東日本台風災害のことを忘れないための取組を進めたい！

永田事務所長
- 鎌原地区の復興は世界的に見ても重要。伝統を大切に！
- 火山砂防事業について、地域の皆さんの理解をより深め、事業に関する意見交換ができるような環境作りに努めたい。

三上砂防部長（Web出演）
- 全国の火山地域で自然災害が多発しています。
- 全国で活火山対策を進めています。
- 自然災害リスクの回避に地域のつながりが欠かせません。

長野県砂防課：長野県側でも浅間山を注視しています。
群馬県危機管理課：長野県と連携、広域避難計画の検討を始めました。

古屋さん
- 嬬恋村の地域のつながりをより大切にしたい。
- 中学生に限らず若い世代に浅間山を体験してもらいたい。
- ジオパークとしても鎌原の出来事をもっと発信したい！

熊川さん
- 東日本台風災害では、消防団の活躍で死者ゼロを実現！
- 別荘、移住といった人口動態の激しい環境を克服し、地域の暮らしの状況をよりきめ細かく把握していきたい。

宮崎さん（鎌原観音堂奉仕会/会場出演）
- 鎌原観音堂の清掃や参拝客への湯茶接待を行っている。
- 保存会のメンバーは現在、鎌原地区住民に限定されている。
- 高齢化などで活動の存続を危惧している。

まとめ＜地域防災力向上に向けた嬬恋モデル＞

① 災害伝承を地域全体で行う
② 地域の声・特性を事業に活かす
③ 家族・地域の絆を防災に活かす